

平成 25 年 4 月 23 日

第 7 回 仙台市中学校長会総会 挨拶

会長 日塔光博

本日は、ご多用の中、仙台市教育委員会教育長・上田昌孝様をはじめ、各関係機関の方々、さらには、歴代の校長会長の大先輩の皆様方のご臨席を賜り、第 7 回仙台市中学校長会総会を開催できますこと、誠に有り難く、厚く御礼を申し上げます。

昨年度末に 14 名の会員が退職、あるいは行政への異動ということでお別れいたしました。この度 10 名の新会員と 4 名の再入会員をお迎えし、会員数 65 名で今年度の仙台市中学校長会をスタートすることができました。

今日、我が国では、少子高齢化及び国際化、高度情報化などによる諸課題に対応するとともに、真に豊かで活力ある社会の実現を目指して、様々な改革が進められております。このような中、我が国の教育には、未来を切り拓く豊かな人間性と創造性を備え、社会において自立的に生きる国民の育成、さらに国際社会に貢献できる国民の育成が求められています。

このような状況を受け、昨年度から、新しい教育課程が全面実施され、仙台市教育振興基本計画もスタートしています。また東日本大震災から三度目の春を迎え、「創造ある復興」もさらに前進させなければならないなど、重要な局面が続いています。

この時に当たり、私たち校長は、中学校教育に課せられた責務を深く認識し、市民の期待に応える学校づくりを推進しなければなりません。

そのために、まずは従前から掲げられてきた、基礎的・基本的な知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力の育成、学習意欲の向上と問題解決能力・創造力の育成、豊かな心と健やかな体の育成に努めなければなりません。

さらに、「仙台市教育振興基本計画」に基づき、学びの連携や協働型学校評価の推進による「地域とともに歩む学校づくり」、社会的・職業的に自立した大人になるための力を育む「仙台自分づくり教育」の推進など、子どもたちの可能性を広げる教育を推進することも大切です。

また、当面する教育課題として、いじめを許さない学校体制の確立や、防災意識の高揚と防災教育・防災体制の一層の充実、震災からの心のケアや「故郷復興プロジェクト」の継続なども必要です。加えて、昨年度相次いだ教職員の不祥事からの信頼回復を目指しての、教育公務員としての使命感の高揚とコンプライアンスの徹底なども喫緊の課題となっています。

このような様々な教育課題に対応する学校づくりが、今、我々校長に求められているわけですが、先の合同校長会で上田教育長から、「不易と流行のバランスのとれた教育」を進めてほしいとの話をいただきました。このことを心にしっかりと据えながら、学校経営に当たって参りたいと思います。

次に、今年度の仙台市中学校長会として特に取り組むべき事項を確認しておきたいと思

います。

一つ目は、「創造ある復興」の具現化です。

神戸市の学校現場では、阪神淡路大震災から 18 年が経った今も、体験を風化させまいと様々な試みが続けられています。この取組に学びながら、私たち仙台市の学校現場からも新たな活動の創出を目指して参りたいと思います。

二つ目は、仙台市教育振興基本計画に基づいた教育実践としての、特に、学びの連携について、小中連携や学校支援地域本部の設置、5 日間の職場体験の実施に向けての、具体の推進です。

三つ目は、新入試制度への対応として、私立高校に対する入試日程や出願事務の統一化・簡素化などについての改善の提言です。

四つ目は、来年度以降の仙台市中学校長会独自の研究協議会の具体の検討です。

五つ目は、教職員の不祥事の根絶であり、スクールコンプライアンス委員会を活用した校内研修の強化です。

六つ目は、宮城県中学校長会と協力しての、東北地区中学校長会研究協議会松島大会の成功です。

七つ目は、県・市の両校長会で協力して開催する平成 28 年度の全日中研究協議会宮城大会や、市校長会単独の力で開催する平成 29 年度の大都市中学校長会連絡協議会仙台大会を視野に入れた取り組みです。

以上の事柄を重点事項として、市内中学生 2 万 6 千 5 百人の実りある将来のため、また、教職員 2 千人の職業人としての人生が豊かなものとなるよう、校長会会員一同、心を一つにして努力して参りたいと思います。

「命令する者は服従する者すべての重荷を負い、ともすればその重荷につぶされることも希ではない。／どの命令の中にも、ひとつの試みと冒険がある。」これは、ニーチェがツァラトウストラに語らせている言葉です。

我々校長は、各々が、個々の学校の経営者として重責を担い、時々において的確な判断・決断を求められる立場であります。

本会の目的の第一は、会員相互の連絡・連携にあります。

平成 22 年度総会の挨拶で当時の高橋泰会長は「そもそも、校長会のメンバーの一員として、新会員もベテラン会員も全員が『校長としての力量』を持ち合わせて、確固たるリーダーシップを発揮して学校経営に当たらなくてはならないが、この力量アップの観点から、校長同士の情報交換や協議が自由・活発にできるような時間を確保するようにしたい。」と述べられていました。

このような観点から、今年度の校長会スローガンを「ともに悩みを分かち合い、ともに知恵を出し合い、支え合い、ともに前へ仙台市中学校長会」とし、校長相互の連絡や情報交換、そして連携を強化し、互いの職務遂行能力の向上を目指して参りたいと思います。

最後になりましたが、本日までご臨席を賜りました上田教育長様、各関係団体様、そして歴代校長会長様には、これまで以上に、私ども仙台市中学校長会にご指導、お力添えをいただきますようお願いを申し上げます、開会の挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。